

笛吹市教育委員会会議録

1 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日時

会 議 名：令和5年度2月定例会

開 催 日：令和5年2月6日

開会時間：午後2時00分

閉会時間：午後3時15分

開催場所：笛吹市役所市民窓口館 302・303 会議室

2 出席及び欠席委員の氏名

出席者：教育長	望月 栄一
教育長職務代理	内田 淳
教育委員	飯田 多恵子
教育委員	高野 仁美
教育委員	中島 知晴
欠席者：教育委員	久保田 一男

3 委員及び傍聴人を除く議場に出席した職員の職氏名

出席者：教育部長	赤尾 好彦
教育総務課長	太田 孝生
学校教育課長	長野 篤雄
学校教育課指導主事	黒澤 宏至
学校教育課指導主事	日原 博人
生涯学習課長	手塚 克巳
文化財課長	望月 和幸
図書館長	吉岡 浩
教育総務課総務担当	田中 政人
〃	白鳥 直子

4 他部署より出席した長及びその事務局部の職員の職氏名

出席者：なし

5 教育長等の報告の要旨

教 育 長：令和5年1月17日から2月6日までの事業報告

教育総務課：令和5年1月11日から2月6日までの事業報告

令和5年度 教育委員会会議開催予定について

小中学校卒業式及び入学式の日程について

令和4年度小中学校卒業式出席者名簿について

学校教育課：2学期末「生徒指導上の諸問題調査」について

令和5年度特別支援学級編制について

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

生涯学習課：令和5年1月12日から2月2日までの事業報告

ふえふき文化スポーツ振興財団の事業報告

文化財課：令和5年1月17日から2月2日までの事業報告

釈迦堂遺跡博物館の事業報告及び1月の入館者数報告

図 書 館：令和5年1月19日から1月27日までの事業報告

教育委員会に係る2月の予定

6 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

7 議会に付した議案、議事の概要、議決事項

議 案 第 9 号： 笛吹市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

長 野 課 長： 資料に基づき説明

内 田 委 員： 学校運営協議会委員の方は1年にどれくらいの回数、会議に参加するものなのか。

長 野 課 長： 概ね3回を考えている。

議 案 第 9 号： 全員了承

議案第10号： 第三次社会教育計画(案)について

手 塚 課 長： 資料に基づき説明

手 塚 課 長： 教育委員の皆様には資料に目を通していただき、2月21日まで実施しているパブリックコメントに意見を寄せていただくか、直接、生涯学習課へ意見を寄せていただきたい。
またパブリックコメントが終了したのち、3月に社会教育委員会を開催し、答申、計画策定し、広く周知していきたいと

考えている。

内 田 委 員：資料 31 ページの折れ線グラフだが、白黒印刷だと 60 代と 80 代、40 代と 50 代の見分けがつきにくい。今後白黒印刷で資料を出す機会があるなら、表記に工夫が必要なのでは。

手 塚 課 長：手元の資料は白黒印刷だが、公開する資料はすべてカラー印刷の予定である。教育委員の皆様にも、後日カラーの資料をお渡ししたい。

赤 尾 部 長：指摘を受けた記号や線の種類が変更できるようならば変更する。

望 月 教 育 長：他にご質問等は。

飯 田 委 員：資料 54 ページの数値目標について、現実味がある数値目標が並ぶ中で「春日居郷土館、八代郷土館、八田家書院、青楓美術館への入館者数」が令和 3 年度現状値 2,611 人から令和 8 年度目標値 7,000 人と大きくなっているが、具体的なイベントがあるのであれば P R 等に協力できると思うので教えていただきたい。

望 月 課 長：提示した数値は、コロナ禍における入館者の落ち込みからの回復を加味しての数値である。また、企画の内容で頑張っていきたいという思いも若干ある。春日居郷土館で青楓美術館の企画展をやったことで、前年度と比較し数字も伸びてきているため、他の施設にも今後企画を広げていきたい。

もう一つは、コロナが少し落ち着いてきていることから、学校の児童生徒の皆さんにもご来館願いたいことも踏まえている。

飯 田 委 員：企画イベントを行うことで来館者が増えると実証されたのであれば、目標値 7,000 人に近づけられるよう尽力していただきたい。

望 月 教 育 長：他にご質問等は。

中 島 委 員：資料 43 ページの「放課後子ども教室事業の充実を図り」というところの「放課後子ども教室」は、学童とは別のものなのか。

手 塚 課 長：学童に行っている子どもたちとは別にカウントしている。学童保育とは担当課が違い、また社会教育とは考え方も違うため「放課後子ども教室」の子どもたちだけの数となっている。

望 月 教 育 長：他にご質問等は。

内 田 委 員：先程の高い数値目標の件について、万が一達成できなかった場合、報告はあるのか。それとも、あくまで目標値というこ

とでよろしいか。

手塚課長：先程、文化財課長が説明したとおり、令和3年度の「現状値」がコロナ禍の中での数字ということもあり、頑張れば手が届きそうな数字を出している。またコロナのような事例が発生すれば、達成できないこともある。

実際、文化協会に登録している人の数、部の数も減ってきているという報告を受けている中で「現状維持」でいいのか審議会の中でも話題になったが「増やす」ことだけが目標ではない。「現状値」を保つことも目標になる。

難しい面があるのであれば、次の目標値を定めるときに下方修正することは大いに考えられる。

望月教育長：他にご質問等は。

高野委員：資料40ページ、子どもクラブの件について、子どもクラブの活動はコロナ禍で減少しており、地域のお祭りや高齢者と触れ合う機会はほぼない状態となっている。

子どもを子どもクラブへ参加させると保護者にいろんな役が回ってくるからと、参加させない家庭が増えている中で、コロナで離れてしまった子どもたちをどのように引き戻すのか。

手塚課長：生涯学習課の中には「生涯学習コーディネーター」がいて、実際、子どもクラブ離れを身近に感じている。毎年役員が変わっていく中、コロナ禍で「昨年やらなかったから今年もやらなくていいのでは」という引き継ぎを受けているところもある。今後は子どもたちに横の関係だけでなく、縦の関係でもいろいろなことができるということを周知していく必要がある。

生涯学習課ではフッキー体験塾などを仕掛けており企画内容にもよるが、小学校1年生から6年生までたくさんの応募がある。市の様々な事業を起爆剤として、徐々に浸透させていきたい。

望月教育長：「第三次社会計画(案)」は現在パブリックコメントを実施しており、また社会教育委員による会議での最終的な答申案策定により、若干の内容変更もあり得るが、計画案として議案第10号は原案どおりとしてよろしいか。

議案第10号：全員了承

8 教育長が必要と認める事項（議事資料）

なし

議事録署名

笛吹市教育委員会 教 育 長 _____

教 育 委 員 _____

教 育 委 員 _____

作 成 職 員 _____